

石神井公園ふるさと文化館 第1回運営懇談会

日 時 令和5年7月28日（金） 午前10時～午前11時15分
場 所 石神井公園ふるさと文化館 多目的会議室
出席者 委員8名
議 事 等 1 公益財団法人練馬区文化振興協会副理事長挨拶
2 議事
(1) 令和4年度事業実施結果について
(2) 令和5年度事業実施計画について
(3) その他
傍 聴 者 なし

【副館長】 練馬区文化振興協会の副理事長より挨拶させていただきます。

【副理事長】 皆様、おはようございます。

練馬区文化振興協会の副理事長をしております。

昨年度はこちらの館の専任の館長が不在ということで館長を兼ねておりましたけれども、この後ご紹介いたします村上もとかさんをこの4月から館長としてお迎えしましたので、副理事長の職務に戻っております。引き続き、ふるさと文化館を、協会としても私としても盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

連日猛暑続きでございますが、本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。夏休みに入りまして、本館もにぎやかになってまいりましたので、また皆様のお力をいただきながら頑張っていきたいと思っております。

さて、この4月から練馬区在住の漫画家の村上もとかさんを館長としてお迎えしました。皆様も、「龍—RON—」や「JIN—仁—」などの歴史漫画はご存知かと思いますが、このような形で館にお迎えできたことは、私たちとしてもとてもうれしく思っております。

館長は、本業は漫画家でいらっしゃいますので、こちらの館に来ていただけるのは月に2、3回なのですけれども、展示のことですとか、今後、漫画とかアニメを事業展開していこうというときに、いろいろ専門家としての知識から、ご助言とか、いろいろな形でご指導をいただいております。皆様にもふるさと文化館が変わったなと思っていただけるように全員で頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

長くなって恐縮なのですが、練馬区の大泉学園駅南口にロードふじみ商店街というところがございまして、そこが公式ユーチューブチャンネルを持っております。今日から4週連続で村上館長のご紹介の動画を作って流していただいております。「ロードふじみ商店街」と検索すると分かると思っておりますので、皆さんも、ぜひお時間がございましたら見ていただきたいと思っております。

これによって、村上館長の考えも分かると思っておりますし、館の紹介もしていただいておりますので、どうぞ皆さん、よろしく願います。

長くなりましたけれども、私からは以上です。よろしく願いいたします。

【副館長】 続きまして、村上新館長からご挨拶させていただきます。

【館長】 皆さん、おはようございます。

私とふるさと文化館との関わりを考えますと、実は40年ほど前にこの辺りに引っ越しをしてきて、それ以来、毎日毎日ほとんど、この石神井公園の周りの散歩を続けておりまして、漫画家という仕事柄、運動不足になりがちですので、それを補うための意味も含めて歩いております。多分、石神井公園を散歩する人の代表として館長に選ばれたのではないかと思います。

2021年、こちらのふるさと文化館に雑誌『東京人』の石神井公園特集号の座談会で呼ばれて、そこで区長さんに初めてお会いしました。そこで、大泉学園や石神井地区、特に石神井公園辺りにどれほど多くの漫画家が住んでいるかということと、そしてこれも練馬区のとて大きな財産の一つだと思っていること、その中で私の人脈を生かしてもらえないでしょうかというようなことを区長さんにお話をしました。多分そのお答えとして、私に「何かやっごらん」ということで、今回、ふるさと文化館の館長職を命じられたのだと思っております。私も、漫画家のネットワークを生かす相談ができればと思ってお受けしました。

私は、上石神井のアパートに初めに引っ越してきましたのが46、7年前なのですが、そのときに、大泉学園駅に大きな喫茶店がありました。当時、その喫茶店に行ったときにびっくりしたのは、あちらにもこちらにも、至るところに、私がいつも雑誌でしか見たことのないような漫画家が出て、そこで一斉に仕事をしたり、編集者の方と打合せをしているのです。すごいところに私は引っ越してきてしまったと、そのとき感動しまして、それ以来、何だかんだいって50年近く、大泉、石神井、今の地にはまって住み続けております。

そのような感じで、私にとっても何かできることといえば、ここで築いた漫画家の仲間たちとのネットワークが私にとっての最大の宝物だと思っておりますので、それをこのふるさと文化館の何かを通じて生かせるような方法がないかなということ、皆さんにもぜひお知恵をお借りしたいと思っております。

【副館長】 それでは、ただいまから令和5年度第1回石神井公園ふるさと文化館運営懇談会を開催させていただきます。

なお、本日はオブザーバーとしまして、文化・生涯学習課長もご出席いただいております。

次に、事務局出席者の紹介をさせていただきます。

～事務局紹介～

また、座長はご欠席とご連絡をいただいております。そのため、本日は、練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会設置要綱第3条第4項により、副座長に議事の進行をお願いしたいと思います。

では、副座長、よろしく願いいたします。

【副座長】 ありがとうございます。

ただいま、館長がいろいろ練馬についてお話くださって、皆さんも、よくお分かりになったと思います。

私も、館長のお人柄とお仕事について、今伺ってよく分かりました。今後とも館をよろしく願いいたします。

【館長】 よろしくお願ひいたします。

【副座長】 それでは、ただいま事務局から職員の方をご紹介いただきましたが、ご異動があった新任の委員の先生についてもお話しください。

副館長、よろしくお願ひします。

【副館長】 今、委員の方の任期はこの2年ということで、ほとんどの方は代わりないのですが、この4月に石神井小学校の校長先生が代わりました。その関係で委員も交代しています。

その他の委員の方には異動はございません。

【副座長】 それでは、ただいま、副館長からお話がありましたように、学校側の異動がございましたよね。校長先生。ご挨拶いただくのはいかがでしょうかね。

ぜひ、一言お願ひいたします。

【委員】 おはようございます。

今年度、石神井小学校に着任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

実は、来年、石神井小学校が150周年を迎えることとなります。ふるさと文化館の方にもお世話になるのではないかなと思っています。子どもたちもしょっちゅう来ているのではないかなと思っていますので、またお世話になりますけれども、どうぞよろしくお願ひいたします。

【副座長】 この会は公開ですが、今日は傍聴人の方はお見えになっていらっしゃいますか。

【副館長】 懇談会の公開について、ご説明いたします。

懇談会につきましては、原則公開とさせていただきます。公開方法につきましては、運営懇談会設置要綱第4条2によるものとさせていただきます。

副座長から傍聴人の確認がありましたが、本日はございません。

よろしくお願ひいたします。

【副座長】 ありがとうございます。

傍聴人は、いらっしゃらないということでございます。

皆さん、よろしければこのまま進めさせていただきます。

一人でも多くの方のご意見を伺いながら進めていきたいと思ひます。

それでは、次第に基づきまして、議事に入らせていただきたいと存じます。

予め、館から内容についての資料が送られておりますので、お目通しいただいていると思ひます。

ご意見がございましたら、ぜひ聞かせていただきたいと思ひます。

この館は、博物館ながら手工芸作品や伝統工芸作品なども展示する館で、小ぶりですが、使い勝手もいい場所でございますので、ご意見よろしくお願ひいたします。

～令和4年度事業実施結果（令和4年4月から令和5年3月まで）についての説明～

【副座長】 ただいま、資料1についての報告がございました。今、事務局が説明を丁寧にしていただきました。皆様、ご意見なり、ここは聞いてみたいということがございますか。お一人ずつ伺っていきましようか。

【委員】 こちらでサポーターを5、6年やらせていただいて、週1回はこちらにおじゃましています。サポーターとして、来られたお子さんとかの質疑応答とか、あるいは、散歩の途中で寄られた方の雑談の相手とか、あるいは館内の展示の内容説明というようなことをやらせていただいております。

私の意見は、日頃、子どもたちはこう言っているな、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんがこう言っているなとか、若い人はこう言っているなと思うことをかいつまんで、この活動内容と同時に話ささせていただけたら幸いです。

一つ目、1ページが一番上の入館者数に関する表なのですが、結論は今日の懇談会で私どもが話してできるのは、どうやったらたくさんの人にこちらに来ていただけるか、そのためにどんな工夫をしましょうかというのをこの会でお話できれば一番いいのではないかなと私は思います。

私は、これだけ立派な施設で、一番最後のページの決算概要を見るとこれだけ予算を使っているのだから、もっともっと来ていただきたいなという感じがしております。

もちろん、昨年よりも1万人増えたというのは誠に結構な話ですが、もっと高いところを狙っていただきたいなというふうに思っています。

2ページを見ると、単純に言いますと展覧会、特別展、あるいは企画展の観覧者数が目標値より明らかに低いですよね。目標値が高過ぎるのかどうかよく分かりませんが、思ったより人が入っていないような気がします。

要するに、集客の工夫なのか、企画の工夫なのか、あるいは始めてみて思ったより人が少ないな、では、どんなPR宣伝したらいいのかというようなことをどうおやりになったかというのを、一つ目に教えていただくとありがたいです。

【副座長】 ありがとうございます。

【委員】 今お話のあった中で、私も関連するところといいますか、PRの方なのですが。

実は、前回もお話したかと思っておりますけれども、私は現在、町会のホームページの担当をしております。実は、練馬の手工芸公募展の関係は必ずホームページで紹介させていただいたり、こちらから私の方に送ってきていただいた資料も全てホームページに掲載しております。

実は今も外に行って、面白そうなことを探しまして観察会とか、また、行政関係であれば、ふるさと文化館や図書館、それから私どもの町内にあります敬老館、これらのカレンダーだとか特別な行事や、敬老館で行われる老人向けスマホ講習会なども、いろいろ掲載しております。

これだけの行事があるというお話が今ありましたが、私どもは、そういう面でできるところはやるというような形でやっております。

ですから、お願いであります。私のところに送っていただく資料は、定例的なものだけではなくて、これをPRしたいというものを送っていただければPRできると思います。大体、年間1万件ぐらいの来訪者をいただいておりますので、結構見ていただいている方も多いのではないかと思います。

現実には今、牧野記念庭園のところはコーナーを作って、そのデータをこちらからいただいたり、いろいろなものも入れてあります。

前回ふるさと文化館の七夕飾りの情報を流しました。図書館、石神井公園、敬老館、その辺りの情報を掲載しています。

大したことはありませんが、地域の方がここを使いやすいような情報を流そうということで活動しておりますので、そのようなことで利用していただければと思います。

【副座長】ありがとうございます。

他にご意見はございますか。

【委員】 手工芸作家連盟の副会長をしております。

この辺りに住みまして長年になります。村上館長が先ほどお話になった『東京人』という本を買わせていただいて、石神井小学校を出た孫たちにも1冊ずつ送りました。本屋で見つけて、石神井公園界限というから、これは孫たちに送るべきだと思いました。

何しろ住所がこの辺りですから、町会の回覧板には必ず「石神井公園だより」や「小学校だより」というのが入ってまいりましたので、こういう行事をしていらっしゃるのだなということを知りました。

校歌もすっかり覚えております。先日もふるさと文化館の「みんなの校歌展」を拝見して、ちょうど音を流していらしたときだったので、一緒になって「歴史は古し わが石神井」というのまで一緒になって歌いました。

そういうことで、地域の便りというのが回覧板で回ってくるのはいいことだなと思っております。

【副座長】 皆さんもいかがですか。地域の方ですからご意見が多分おありなのだろうと思います。

【委員】 このエリアの町会長をしております。

皆さんがおっしゃっているように、目標に対しての参加人数の件ですけれども、多分、定員というか、目標値が高く設定されていて、そこまで頑張ろうとか、そこまでは入れるよみたいな数字ではないかなと思います。私は少し甘く見ているのかもしれませんが。

ただ一方で、そこまで入れるのならば、もっとPRして、たくさん参加してもらう方がいいに決まっていますので、その辺のところは、町会としても協力できる部分が少し足りないかなというふうにも思っております。

協力できる部分については協力しますので、そういったことがあれば、言っていただければありがたいと思います。それがまた町会としても活動の一つにもなっていくわけですので、よろしくお願いします。

【副座長】 それでは、ご意見いかがですか。

【委員】 石泉囃子連合会というお囃子の団体でございまして、各お囃子は区登録無形民俗文化財となっております。

はじめは、こちらの開館記念のこけら落としのときには獅子舞を披露させていただきました。

それから10年たちまして、数年前に10周年記念なので、皆様からお囃子をやってよと言われまして、10数年前はこちらでやったので10周年記念は旧内田家でやりましょう、ということで発表直前までまいったのですが、残念ながらそのときはコロナの直前でございましたので、中断というか中止になってしまったといういきさつがございます。

元に戻りますけれども、いろいろな行事がございますが、展覧会だとか、展示内容、23

区内の中でも、練馬は非常にすばらしいところだと思います。私も生まれてからずっと練馬っ子でございますので。

また、いろいろな行事を選んでいただいて、一人でも来館者数が増えることを願っております。そのためには、ねりま区報など、様々な手段があると思いますので、また頑張ってください。

【副座長】 どうぞ。

【委員】 小学校の校長という立場からお話をさせていただきます。

小学校3年生が練馬区の勉強を社会科でします。4年生になると東京都、5年生になると工業、6年生になると歴史とか、そのような感じで学習が広がっていきます。

コロナがあったので、3年生の社会科見学に行けない3年間がありました。今は大分緩和されました。小学3年生にとってふるさと文化館で学ぶことはすごく大きいですね。すごく分かりやすい施設だと私は思っております。

コロナが明けましたので、今年は社会科見学に結構みんなが来られるのではないかな。ただ、石神井小学校はバスを使ってこなくても、歩いてこられるので、事前に、その日だけここで学ぶということになると思うのですけれども、他校はバスを使って、社会科見学でないと行けないかなと思っています。

大泉東小学校は歩いてきました。でも、それ以外の八坂小学校とか、土支田の方とか、豊玉という地域はバスで来ないといけないかなと思うので、そういう計画を多分、各校長は立てているのだらうと思います。

3年生にここをぜひ見てもらって、練馬区を学んでもらいたいというのが、私の願いでもあります。

【副座長】 どうぞ。

【委員】 練馬区役所で観光部門の課長をしています。

今日いただいた資料の中で、区の中で、石神井公園のガイドツアーが昨年度は中止とありましたけれども、練馬区には観光センターというところがありまして、主に区民の方にご参加いただくためのものでこれまでやってきました。

今年度からですけれども、我々の方で、旅行会社に委託して、練馬区内のいろんな魅力を発信していこうということで、日帰りの旅行ツアーを5月から開始しています。

例えば農家の畑で野菜を採ってもらうとか、近くですと、石神井公園に樹木医の方とか、よくテレビに出ているような地理学にも詳しい方と一緒に公園を散策するとか、そういったいろんなツアーを有料で5千円から1万円ぐらいで、お昼は区内の飲食店で召し上がっていただくというツアーをやっています、既に500人以上の方に参加をしていただいています。

そのような取組の中で、こういった文化とか芸術とかをお伝えできればなと思っています、ふるさと文化館さんとも一緒にできたらなと思っています。

そういった形で、区内の方だけではなくて、区外の方にもそのような魅力を発信できればなと思っていますので、引き続きご協力の方をよろしく願いいたします。

【副座長】 一通り、ご意見を伺いました。

本当にいい場所であるのだけれども、集客をどうしたら良いかと、委員の一人として皆さんが心配してくださっていて、もう少しやってもいいというお声と、もう少し知ってい

ただくにはどうしたらいいかというのが出ていましたね。

私も常々それを思っていました。でも、今回、区民の公募展では、今までは偏った方からの応募が多かったのですが、今年は館の努力で全体的に特にPRしていただいたのか、コロナが収まったせいもあるのか、この公募展が知られたからなのか、昨年より十何点多い70点という応募がありました。昨日、2、3時間かけて、我々は審査をいたしました。一般の方でこれほどのものを作っているのだというようなとてもいい作品でした。まだお写真と書類の審査ですから、これから、9月に入ってから実物を拝見しようと思っています。それが全区的に応募されてきているので、ここを知っていただけているのだなと思いました。

私は大泉学園の駅からタクシーで来ています。タクシーの運転手さんに「文化館へ行ってください」と言っても、ふるさと文化館を以前は全く分かってもらえなかったです。プールとか博物館と言うと分かる。でも最近「あそこのプールのところですね」と言われるようになり、知られつつあるようになったかなと思って、うれしく思っています。

ただ、建っているのが都立の公園の隣なのですね。今はどうなっているのでしょうか。公園の中にふるさと文化館を、とても格好よく道案内するようなものを置けないかなという提案を以前したのですけれども、都立の公園の中で難しいということで、なかなか実現しておりません。

足の便は確かに悪いですよね。大泉から来るにしてもバスが1時間に2本、それから、石神井からというとなんかあるのですけれども、やっぱり歩くのです。

だから、そういう意味からいっても、都立の公園の中にもう少し、このPRの道案内みたいなのを立てて欲しいのですが、昔は駄目でしたよね。

【事務局】もう実現しており、今は公園の中に幾つか立っております。

【副座長】そうですか。そういうことは、一遍に広がることとは思いません。皆さんが努力して10年経った結果だと思います。企画の内容がどうか、足の便の問題、PRの問題、いろいろご意見が出たのですけれども、PR方法や企画も皆さんでこれからもっと考えて、こんなのがあったらいいねというのを出していただいて、それも入れていただければいいのかなと思います。館の方も一生懸命やってくださっているので、今後ともよろしく願いいたします。

他になれば、次にまいりたいと思います。

【委員】今の関係で1点、よろしいですか。

ミニバスはここへ立ち寄れないのかという意見を前も言ったことがあるのですけれども、確かに遠いですよ。

私は、実は水彩画をやっておりまして、ここの館で毎年、作品展をやっていたのです。

ここまで来るのがバスで、大泉学園から来ると本当に朝方で2本ぐらいしかない。それから、石神井公園駅から歩くと15分ぐらい。高齢者が多いものですから、なかなか足が不便だと思います。

わざわざ石神井公園から農協のJAのところまで来て降りたり、それから、ボート乗り場で降りたりというような方たちもいますけれども、ストレートに施設を回るようなルートができれば非常に便利ではないでしょうか。

ふるさと文化館が要望しても駄目なので、区からの働きかけというか、そういうものが

できればいいのかなというふうに考えています。

【副座長】 ありがとうございます。

ここだけ行くバスを改めて通すというのは無理だと思いますので、区の中の施設を何か所か回りながら、巡回バスみたいな、マイクロバスみたいなものが西武とかから出しているだけでありがたいなと思っております。

なかなか大変なことだと思いますが、皆さんの声を届けながら少しでも前に進んだらいいなと思っております。

いかがでしょうか。他になければ、次に移りたいと思います。

【事務局】 いろいろな意見を頂戴しまして、ありがとうございます。なかなか当館のPR等だけでは限界が見えてきているので、実は、ふるさと文化館が始まったときは、皆様方にも協力していただきながら館のPRを行い、活性化したいという初心がございました。今日は改めて皆様方からご協力をいただけるということを伺い、そのための努力を怠っていたということに気付かしまして、初心に戻って、皆様方のご協力をいただきながら、また館を活性化させていきたいと思っております。

それから、当館に村上館長が着任しましたので、漫画については新事業を行っていきたいと思っておりますので、その辺りも、また皆様のご意見をいただきながらご協力いただきたいと思っております。

【副座長】 ありがとうございます。

それでは、次の議事に入りたいと思っております。

令和5年度事業計画について、事務局からご説明願いたいと思っております。

～令和5年度事業実施計画についての説明～

【副座長】 資料2の計画についてご説明いただきました。

計画ですから、これからのことも多いので、皆さん、いかがでございましょう。

先ほど大分ご意見をいただきましたけれども、それぞれのお考えでここを盛り立てていくといいのではないかと私たちは思っておりますので、ぜひ、館への声、ご意見やご要望があればお願いしたいと思います。

【委員】 （4）展示会関連事業の2ページ、並びに3ページの2、教育普及事業の（1）講座事業、これらを全部、定員をなくしたらいかがでしょうかという提案です。

実は、申し込んで抽選に外れたことが今まで2回あります。後から、たまたま懇談会の委員をやった数字を見たら、定員を大きく下回っていました。それなら何のために定員を決めて私が外れたのか、がっかりしたというのが自分の経験です。もし定員なしでやりますと、多分座席からはみ出る人が出てくる。それくらいに集めたらいかがでしょうか。立ち見席オーケー、あるいは、はみ出た人が横に出てでも聞いてもらいたいというぐらいの熱意のある感じでやるとか、椅子を詰めてでもやるとか、せっかく講師がおいでになっているのに、聞きたい人が抽選に外れるというのは何とも情けないので、こういう定員なしをご検討していただくのはいかがでしょうかというのが、個人的な意見であります。

【副座長】 これについては、ちゃんと答えていただきたいと思っております。

【事務局】 お答えします。定員については、申し訳ございませんが、この会議室は消防

法の関係で96人しか入れられません。ですから、立ち見とかができない状況でございますので、定員を設けさせていただきます。

抽選に外れているということで、申し訳ないことになってしまいましたが、最近では定員を超える応募はいただいております。それなのに当日は定員に満たないというのは、キャンセルが多いためです。その辺りを今後どうするかということは検討の余地があると思いますので、今日のご意見を伺いまして、今後検討して改善していきたいと思っております。

【副座長】 よろしいですか。

定員がないというのは難しいのだろーと思えますね。こういう建物の構造とか、いろいろなもので規制があるし、消防法もあるでしょうから。そのような意味では、私はあってもいいのではないかなと思います。

ただ、2度も落ちたというような場合については、応募が何千人も来るわけではないと思うので、何回も落ちた方を次は優先的に入れてあげるような配慮はあってもいいかなという気はしないでもないですけれども、そういうことはやっていますか。

【事務局】 行っておりません。機械による自動抽選で行っておりますので、そこまでが、こちらでできることでございます。

【副座長】 分かりました。

そういうことがあるところもあるので、そういう中でお考えいただいて、どうしてもこういう事情で無理ですよということであれば、これはしょうがないことで、ここの決まりですからね。それを守っていただいているのではないかなと。

他にご意見ございますか。今日は、皆さんからご意見を多く出していただき、ありがたいと思っております。

【委員】 もう一ついいですか。

【副座長】 はい。

【委員】 展示の件ですが、今回、館長が村上さんになられて、ガラッと大分変わって、来館者からも評価が高かったと思います。

それで私は、展示をするのに、蔵書類にしろ何にしろ、多分たくさんお持ちだろうと思うので、常設展示はいつも同じものでなくても、例えば春夏秋冬で変えてみるとかはいかがでしょうか。あるいは、小学生や中学生に聞くと、動くようなものの展示がもっとたくさんあるとうれしいとか、あるいは、テレビゲームみたいな電子図書みたいな、あんな感じのものにして見られないものかという意見があります。

子どもたちが言うから好き勝手かもしれませんが、私の目から見ると、ビデオで流れる絵がいかにも古くなってきました。あれはいかなるものでしょうか。

例えば、光が丘ができたところからずっと見ていく感じの映像があるので、予算を見繕って、ビデオ関連、あるいは大根の展示の辺りの方も工夫をなさっていただけないかなと思います。

あるいは古文書もどんどん取り替えて、来場者から高い評価をしていただけるようなものにすれば、リピートの来場者が多くなるのではないかなというような、これはあくまでも意見であります。

【副座長】 ありがとうございます。

本当にたくさんのご意見、ご要望がございました。それは事務局の皆さんで、少し頭に入れながら受け止めてください。

他にないようでしたら、事務局からの事務連絡で締めたいと思います。

【副館長】 次回の懇談会は、例年どおり、来年の3月頃を予定しております。

令和5年度1月頃までの実施結果と、令和6年度事業計画をお示ししますので、ご意見をいただければと思っております。

かなり先になりますので、改めて通知をお出ししますので、どうぞよろしくお願いいたします。

その他、当館では、ただ今、田中小実昌展を開催中がございます。早宮に暮らした作家ですので、ぜひ御覧になってお帰りいただければと思います。

【副座長】 よろしいですか。

【事務局】 本日はありがとうございます。

【副座長】 それでは、ここで閉会させていただきます。長時間、ありがとうございました。